

観光庁実証事業の採択を受け
観光総合案内所に外国人バリアフリー旅行相談窓口を設置
～ユニバーサルツーリズムの促進に着手します～

公益社団法人鎌倉市観光協会（大森道明会長）は8月26日（月）、国土交通省観光庁が公募する「バリアフリー旅行相談窓口に係る実証実験事業」に採択されました。これに伴い、JR 鎌倉駅東口にある「鎌倉市観光総合案内所」において、観光で訪れた外国人障害者への案内対応の充実を図るため、外国人障害者の受入れに向けた人材育成、周辺宿泊施設のバリアフリー調査、多言語によるバリアフリー情報の発信ツールの作成に着手していきます。また、同事業を推進するにあたり、高い専門知識を有するNPO法人湘南バリアフリーツアーセンター（榊原正博理事長）と連携体制をとり、対応していくこととします。

全国に先駆けて、本格的なユニバーサルツーリズムに対応した観光総合案内所の展開を目指します。

【観光庁の公募について】

① 募集主体

インバウンド対応が可能な既存の観光案内所を運営する観光協会等の団体

② 応募受付期間

令和元年7月9日～8月6日

③ 事業概要

選定団体には1件あたり50～100万円程度、合計500万円を上限に、外国人障害者向けのバリアフリー旅行相談窓口設置に向けた準備費用の一部を負担

*詳細は、観光庁HP (http://www.mlit.go.jp/kankocho/topics06_000221.html) を参照ください

【NPO法人湘南バリアフリーツアーセンターについて】

湘南バリアフリーツアーセンターは、2016年より鎌倉・湘南地域及び横浜市の観光施設・宿泊施設の調査を行い、神奈川県内外からの旅行・観光相談などを行っています。昨年からは、鎌倉市相互提案協働事業として、車いす観光バリアフリーマップ作成事業を行っています。

【今後のスケジュール】

① 外国人障害者の受入れに向けた人材育成（11月頃～）

障害者接遇講習（案内所スタッフ研修）を10回程度予定

② 周辺宿泊施設のバリアフリー調査（11月頃～）

市内の施設に調査

③ 多言語によるバリアフリー情報の発信ツールの作成（12月頃～）

英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語、スペイン語、フランス語を予定。

（本件についてのお問合せ 鎌倉市観光協会 TEL0467-23-3050 大津）

（認可窓口： 観光庁 TEL03-5253-8111 観光産業課 鈴木様）